

2章 共通工 ⑭ 排水構造物工

3 施工パッケージ 3-7 プレキャスト集水柵 (1) 条件区分

	改正後	現 行
誤	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 19・表 3. 20 (略)	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 17・表 3. 18 (略)

	改正後	現 行																				
正	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 19 プレキャスト集水柵 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>製品質量(kg/基)</th> <th>基礎碎石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付</td> <td rowspan="3">(表 3. 20)</td> <td>(表 3. 4)</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>(表 3. 4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～7 (略)</p> <p>表 3. 20 (略)</p>	作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無	据付	(表 3. 20)	(表 3. 4)	撤去	—	据付・撤去	(表 3. 4)	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 17 プレキャスト集水柵 積算条件区分一覧 (積算単位：基)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>製品質量(kg/基)</th> <th>基礎碎石の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付</td> <td rowspan="3">(表 3. 18)</td> <td>(表 3. 4)</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>(表 3. 4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～7 (略)</p> <p>表 3. 18 (略)</p>	作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無	据付	(表 3. 18)	(表 3. 4)	撤去	—	据付・撤去	(表 3. 4)
作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無																				
据付	(表 3. 20)	(表 3. 4)																				
撤去		—																				
据付・撤去		(表 3. 4)																				
作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無																				
据付	(表 3. 18)	(表 3. 4)																				
撤去		—																				
据付・撤去		(表 3. 4)																				

2章 共通工 ⑭ 排水構造物工

3 施工パッケージ 3-10 プレキャストL形側溝 (1) 条件区分

	改正後	現 行
誤	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 25～表 3. 26 (略)	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 23～表 3. 24 (略)

	改正後	現 行																								
正	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 25 プレキャストL形側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>L形側溝の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付</td> <td>(表 3. 4)</td> <td>(表 3. 26)</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>(表 3. 4)</td> <td>(表 3. 26)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～6 (略)</p> <p>表 3. 26 (略)</p>	作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類	据付	(表 3. 4)	(表 3. 26)	撤去	—	—	据付・撤去	(表 3. 4)	(表 3. 26)	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表 3. 23 プレキャストL形側溝 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>L形側溝の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>据付</td> <td>(表 3. 4)</td> <td>(表 3. 24)</td> </tr> <tr> <td>撤去</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>据付・撤去</td> <td>(表 3. 4)</td> <td>(表 3. 24)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～6 (略)</p> <p>表 3. 24 (略)</p>	作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類	据付	(表 3. 4)	(表 3. 24)	撤去	—	—	据付・撤去	(表 3. 4)	(表 3. 24)
作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類																								
据付	(表 3. 4)	(表 3. 26)																								
撤去	—	—																								
据付・撤去	(表 3. 4)	(表 3. 26)																								
作業区分	基礎碎石の有無	L形側溝の種類																								
据付	(表 3. 4)	(表 3. 24)																								
撤去	—	—																								
据付・撤去	(表 3. 4)	(表 3. 24)																								

	改正後	現 行
誤	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.30・表3.31 (略)	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.28・表3.29 (略)

	改正後	現 行																								
正	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.30 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> <th>パイプ径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.31)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">フランジ型</td> <td>800mm 以上 1,200mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,200mm を超え 1,800mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ラップ型</td> <td>2,000mm 以上 2,500mm 以上</td> </tr> <tr> <td>2,500mm を超え 3,000mm 以上</td> </tr> <tr> <td>3,000mm を超え 3,500mm 以上</td> </tr> <tr> <td>3,500mm を超え 4,500mm 以上</td> </tr> </tbody> </table> (注) 1～4 (略) 表3.31 (略)	作業区分	規格	パイプ径	(表3.31)	フランジ型	800mm 以上 1,200mm 以下	1,200mm を超え 1,800mm 以下	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以上	2,500mm を超え 3,000mm 以上	3,000mm を超え 3,500mm 以上	3,500mm を超え 4,500mm 以上	(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.28 コルゲートパイプ 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> <th>パイプ径</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">(表3.29)</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">フランジ型</td> <td>800mm 以上 1,200mm 以下</td> </tr> <tr> <td>1,200mm を超え 1,800mm 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">ラップ型</td> <td>2,000mm 以上 2,500mm 以上</td> </tr> <tr> <td>2,500mm を超え 3,000mm 以上</td> </tr> <tr> <td>3,000mm を超え 3,500mm 以上</td> </tr> <tr> <td>3,500mm を超え 4,500mm 以上</td> </tr> </tbody> </table> (注) 1～4 (略) 表3.29 (略)	作業区分	規格	パイプ径	(表3.29)	フランジ型	800mm 以上 1,200mm 以下	1,200mm を超え 1,800mm 以下	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以上	2,500mm を超え 3,000mm 以上	3,000mm を超え 3,500mm 以上	3,500mm を超え 4,500mm 以上
作業区分	規格	パイプ径																								
(表3.31)	フランジ型	800mm 以上 1,200mm 以下																								
		1,200mm を超え 1,800mm 以下																								
	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以上																								
		2,500mm を超え 3,000mm 以上																								
		3,000mm を超え 3,500mm 以上																								
		3,500mm を超え 4,500mm 以上																								
作業区分	規格	パイプ径																								
(表3.29)	フランジ型	800mm 以上 1,200mm 以下																								
		1,200mm を超え 1,800mm 以下																								
	ラップ型	2,000mm 以上 2,500mm 以上																								
		2,500mm を超え 3,000mm 以上																								
		3,000mm を超え 3,500mm 以上																								
		3,500mm を超え 4,500mm 以上																								

	改正後	現 行
誤	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3. 33 (略)</p>	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3. 31 (略)</p>

	改正後	現 行										
正	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3. 33 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(表 3. 31)</td> <td>350×350mm 以上 550×550mm 以下</td> </tr> <tr> <td>550×550mm を超え 750×750 mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～4 (略)</p>	作業区分	規格	(表 3. 31)	350×350mm 以上 550×550mm 以下	550×550mm を超え 750×750 mm以下	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表 3. 31 コルゲートフリューム 積算条件区分一覧 (積算単位：m)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業区分</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(表 3. 29)</td> <td>350×350mm 以上 550×550mm 以下</td> </tr> <tr> <td>550×550mm を超え 750×750 mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～4 (略)</p>	作業区分	規格	(表 3. 29)	350×350mm 以上 550×550mm 以下	550×550mm を超え 750×750 mm以下
作業区分	規格											
(表 3. 31)	350×350mm 以上 550×550mm 以下											
	550×550mm を超え 750×750 mm以下											
作業区分	規格											
(表 3. 29)	350×350mm 以上 550×550mm 以下											
	550×550mm を超え 750×750 mm以下											

2章 共通工 ⑩ 排水構造物工 現場打ち集水桝・街渠桝(本体)
 3 施工パッケージ 3-1 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) (1) 条件区分

	改正後	現行																				
誤	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>1箇所当たり コンクリート使用量</th> <th>コンクリート 打設工法</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(表3.2)</td> <td rowspan="3">(表3.3)</td> <td rowspan="3">(表3.4)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～8 (略) 9. <u>鉄筋工が必要な場合は、「森林整備保全事業標準歩掛 コンクリート工 鉄筋工」により別途計上する。</u></p>	コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>1箇所当たり コンクリート使用量</th> <th>コンクリート 打設工法</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(表3.2)</td> <td rowspan="3">(表3.3)</td> <td rowspan="3">(表3.4)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1～8 (略) 9. <u>鉄筋加工・組立費が必要な場合は、「市場単価 鉄筋工」より計上する。</u></p>	コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無
	コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類																		
(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)																			
			特殊養生(ジェットヒータ)																			
			養生工無																			
コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類																			
(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)																			
			特殊養生(ジェットヒータ)																			
			養生工無																			
正	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>1箇所当たり コンクリート使用量</th> <th>コンクリート 打設工法</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(表3.2)</td> <td rowspan="3">(表3.3)</td> <td rowspan="3">(表3.4)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、現場打ちによる集水桝・街渠桝(本体)のコンクリート打設、現場内小運搬(15m以内)、シュートの架設・移動(人力打設の場合)、コンクリートバケットへのコンクリート積込み及び玉掛作業等を行う機械付補助作業(バックホウ(クレーン機能付)打設の場合)、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業を含む。)、基礎砕石、均しコンクリート、養生、目地材の施工のほか、雑機械器具(シュート、コンクリートバケット、コンクリートパイプレータ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材、電気ドリル、電気ノコギリ、つき固め機械等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む。)を含む。 2～8 (略) 9. <u>鉄筋工が必要な場合は、「森林整備保全事業標準歩掛 コンクリート工 鉄筋工」により別途計上する。</u></p>	コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無	<p>(1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。</p> <p>表3.1 現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 積算条件区分一覧 (積算単位：箇所)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリート規格</th> <th>1箇所当たり コンクリート使用量</th> <th>コンクリート 打設工法</th> <th>養生工の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">(表3.2)</td> <td rowspan="3">(表3.3)</td> <td rowspan="3">(表3.4)</td> <td>一般養生・特殊養生(練炭)</td> </tr> <tr> <td>特殊養生(ジェットヒータ)</td> </tr> <tr> <td>養生工無</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 上表は、現場打ちによる集水桝・街渠桝(本体)のコンクリート打設、現場内小運搬(15m以内)、シュートの架設・移動(人力打設の場合)、コンクリートバケットへのコンクリート積込み及び玉掛作業等を行う機械付補助作業(バックホウ(クレーン機能付)打設の場合)、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業を含む。)、<u>鉄筋、基礎砕石、均しコンクリート、養生、目地材の施工のほか、雑機械器具(シュート、コンクリートバケット、コンクリートパイプレータ、型枠用合板、鋼製型枠、型枠用金物、組立支持材、はく離材、電気ドリル、電気ノコギリ、つき固め機械等)の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む。)を含む。</u> 2～8 (略) 9. <u>鉄筋加工・組立費が必要な場合は、「市場単価 鉄筋工」より計上する。</u></p>	コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類	(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ジェットヒータ)	養生工無
	コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類																		
(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)																			
			特殊養生(ジェットヒータ)																			
			養生工無																			
コンクリート規格	1箇所当たり コンクリート使用量	コンクリート 打設工法	養生工の種類																			
(表3.2)	(表3.3)	(表3.4)	一般養生・特殊養生(練炭)																			
			特殊養生(ジェットヒータ)																			
			養生工無																			

9章 道路維持修繕 ⑯ トンネル漏水対策工
 3 施工パッケージ 3-6 線導水(導水樋工)(材料費)

	改正後	現行
誤	<p><u>3-4 線導水(導水樋工)(材料費)</u> <u>(1) 条件区分</u> <u>線導水(導水樋工)(材料費)における積算条件区分はない。</u> <u>積算単位はmとする。</u> <u>(注) 線導水(導水樋工)(材料費)は、必要量を計上する。</u></p>	(新設)
正	<p><u>3-6 線導水(導水樋工)(材料費)</u> <u>(1) 条件区分</u> <u>線導水(導水樋工)(材料費)における積算条件区分はない。</u> <u>積算単位はmとする。</u> <u>(注) 線導水(導水樋工)(材料費)は、必要量を計上する。</u></p>	(新設)